

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）
公募型研究テーマ 研究概要

課題（研究領域）

制度、文化、公共心と経済社会の相互連関

研究テーマ名

効果的・持続的な災害伝承を目的にした拠点構築手法のモデル化と実践的研究

責任機関

国立大学法人東北大学

研究実施期間

平成27年10月～平成30年9月

研究プロジェクトチームの体制

氏名	所属機関・部局・職名
(研究者グループ) <u>研究代表者兼グループリーダー</u>	
佐藤 翔輔	東北大学・災害科学国際研究所・助教
<u>分担者</u>	
今村 文彦	東北大学・災害科学国際研究所・教授
川島 秀一	東北大学・災害科学国際研究所・教授
邑本 俊亮	東北大学・災害科学国際研究所・教授
蝦名 裕一	東北大学・災害科学国際研究所・准教授
サッパシー・アナ ワット	東北大学・災害科学国際研究所・准教授
マリ・エリザベス	東北大学・災害科学国際研究所・助教
林 勲男	国立民族学博物館・文化資源研究センター・准教授
井出 明	追手門学院大学・経営学部・准教授
(実務グループ) <u>グループリーダー</u>	
<u>中川 政治</u>	一般社団法人みらいサポート石巻・専務理事
<u>分担者</u>	

<u>山崎 麻里子</u>	中越防災安全推進機構・マネージャー
<u>黒澤 健一</u>	「がんばろう！石巻の会」・事務局長
<u>阿部 勝浩</u>	石巻地方ビジターズ産業ネットワーク・代表
<u>大須 武則</u>	三陸河北新報社

※実務者は氏名に二重下線

配分（予定）額

（単位：円）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
2,760,000	4,050,000	3,250,000	1,200,000

※平成28年度・平成29年度・平成30年度については予定額

研究目的の概要

災害に見舞われた被災地では、経験・教訓を継承するために展示、ガイド・語り部等の災害伝承活動が行われるが、それらの効果は未検証であり、利用者が経年的に減少するという課題がある。本研究は人文・社会科学の叢智を結集し、これら諸問題を改善する災害伝承拠点構築モデルの確立を目的とする。

研究計画の概要

効果的で持続的な災害伝承を行うための理論モデルをコンテンツ編集、マーケティング、意識変容の視点で設計し、東日本大震災の被災地である石巻市での実践を行い、その効果検証と検証結果にもとづくモデルの改善を継続的に行うアクションリサーチのアプローチをとる。